

お葬儀までのおおまかな流れ

- ①ドリーマーに葬儀の依頼（24時間対応しています）
- ②ご家族様と担当者が打ち合わせ（ご要望をお聞きします）
- ③担当者が見積作成（わかりやすくご説明します）

ここがポイント!!

この段階で大体の葬儀代金がわかります。ここでご予算が合わないようであれば、再度ご希望に合うよう見積作成をさせていただきます。ということは何ですか？



予定通りのご予算でお葬儀をしていただけます



ですから安心して私達におまかせください。どなたでもお葬儀していただけますが、私達ドリーマーは互助会の会社ですので事前に入会頂ければ割引等会員様特典がございます。まずは資料請求を!! フリーダイヤル 0120-129-432

今年、最初のかから版！
今年も毎月20日にお会いしましょう!!



ドリーマー中村葬祭館スタッフ 新年の抱負を語るコーナー



横田 道明

ドリーマーに入社し、早いもので20年の月日が経とうとしています。多くの貴重な経験を自分のためだけでなく、1人1人の社員と共有し、その人その時を大切に想い、より人間らしい温かみのある企業体を目指して参ります。本年も何卒よろしくお願い致します。



山本 純子

月日が経つにつれて早いものですね。今年で19年目を迎えることになりました。「私に司会ができるだろうか？」不安にかられながらも、今までやってこられたのは、皆様の温かい励ましがあったからこそです。今年は司会の後継者ができればと思っています。本年もよろしくお願い致します。



兵頭 隆一

近年は、様々なカタチの葬儀が営まれています。昔の良き風習も大事にしながら、お客様のご要望にお応えできるように、葬儀担当者として、企業として前に進んでいけたらと思います。その為の努力を惜しまないことをお約束します。本年もよろしくお願い致します。



高野 香

1年があっという間に過ぎてしまうということは、あっという間に歳をとっているということ。そう思うと複雑ですね(笑)。時間が早く過ぎていく事をただ嘆くのではなく、お客様のお手伝いが今までより、少しでも多くできるようにと思います。本年も宜しくお願い致します。



山本 良一

あっという間に1年が過ぎました。昨年は多くの人との出会いがあり、この出会いを大切にしていきたいと思っています。これからもご遺族の希望が叶う打合せを心がけ、出来るだけのことをお手伝いさせていただきます。本年も宜しくお願い致します。



横山 奈歩

ここ最近、1年が段々と短く感じています。心なしかお化粧のノリが悪くなった気がするのは、化粧品を変えたからで、肌の老化では決してないと思込むようにしています(笑)。今年は人との出会い・絆を大切に、少しでも皆様のお手伝いが出来ればと思っています。本年もよろしくお願い致します。



坂 拓磨

家族が増えたことで、親としての責任も増し、気が引き締まった1年になった気がします。贅沢な思いはさせてあげられないと思いますが、お腹いっぱいのご飯と笑顔の絶える事のない食卓は約束したいです。仕事においてはワンランク上の打ち合わせを目指したいと思います。



佐竹 健作

「昔はこんなことなかったのに」と思う場面が多かった気がします。お酒も飲み過ぎると、その分回復に時間がかかるようになり、体力も幾分落ちて気がします。歳をとったから仕方がないと決めつけず、新しい事にもチャレンジをする。「勝手に老けこまない」を心がけたいです。

新春特別復活！わかったらハガキに
答えを書いて送ろう！
クイズのコーナー！

いきなり問題です。「ドーナツ君とカレーパン君と食パン君の三人が歩いていました。声をかけられて振り向いたのは誰でしょうか？」答えがわかった方は〒787-0009 四万十市佐岡 446 ドリーマー中村葬祭館かわら版 1月号 プレゼント係までご応募ください。正解者の中から3名様に寒い日にコタツに入りながら飲み比べたい「茶の国めぐり・緑茶ティーバッグ詰合せ」をプレゼント！ご応募まってます。

ホームページに
お葬儀に関する大事な
お金のことを載せています!!

お客様の疑問・知りたいことにお答えしたいと思い、ホームページをつくっています。「事前相談にいくのはちょっと抵抗があるのだけど」そんな方にはオススメです。スタッフにより日常をつづったブログを毎日更新しています。

ドリーマー

検索



今年に入ってそうそう風邪を引いてしまいがち三が日を寝て過ごすことになってしまいました。せつかくのおせち料理も食べる事ができず、どうにか、お雑煮だけは食べる事ができました。寒気がする体をお雑煮は温めてくれて、いつもと変わらない味は私を安心させてくれました。風邪を引かず例年通り新年を迎えていたらお雑煮のおいしさや、いつもと変わらない味に感謝することもなかったと思うと「ケガの功名」と言えるかもしれませぬ。体が弱ってはじめて気づくのではなく、普段から感謝の気持ちを持ってはいけません。新年早々、いい教訓になりました。

